

対象器具	10W: IEM-10801
	20W: IEM-20801、IEM-20801B、IEM-20802、IEM-20901
	40W: IEM-40801、IEM-40802、IEM-40901
適合ランプ	10W: 東芝非常灯用電球 PIL4.8V10WS35E17
	20W: 東芝非常灯用電球 PIL7.2V20WS35E17
	40W: 東芝非常灯用電球 PIL14.4V40WS35E17

このたびは東芝非常用照明器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

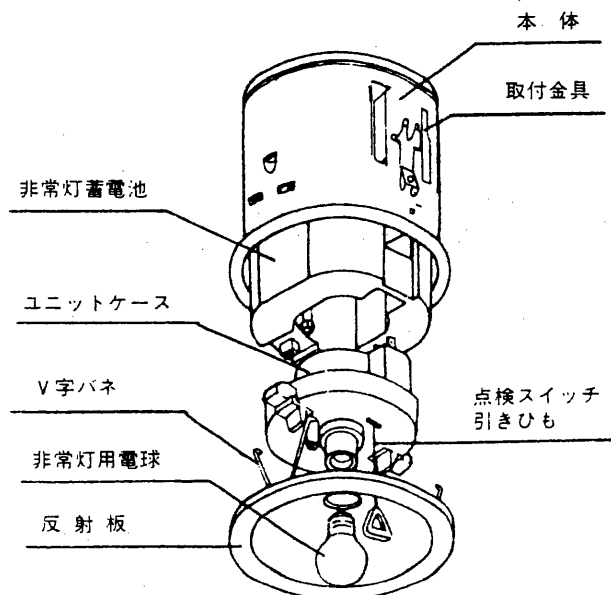
お客様へ

- この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■各部のなまえ



この取扱説明書は同種類の非常用照明器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

東芝非常用照明器具点検カード

点検責任者

設置 年 月 日 設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

●保守と点検方法

1. 光源、本体などの外観の汚れを確認してください。
2. 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
3. 充電モニターが消灯しているときは、蓄電池は充電されていません。不点の原因を確認のうえ処理してください。
4. 非常点灯の性能をチェックするときは二昼夜以上通電し、十分充電したのち、平常電源をしゃ断して非常点灯に切り替えてください。30分経過後、非常点灯しているかどうか再び確認してください。
5. 充電モニターが点灯していないときおよび非常点灯が30分持続しないときは、確認の上、適切な処理をしてください。

切り取って必ず保存してください

■器具の取付方法

①天井に埋込穴をあける前に、天井の厚さを確認してください。

取付可能な天井の厚さは10mm～45mmです。

これ以外の厚さには、器具を取り付けないでください。器具落下の原因となります。

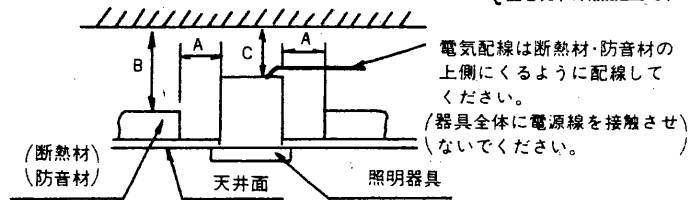
②断熱材・防音材を使用して施工する場合は、〔図1〕の様に施工してください。

指定の寸法以外で施工しますと、火災の原因となります。

	離隔距離
A	10cm以上
B	20cm以上
C	5cm以上

断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法

〔住宅の断熱施工天井ではご使用できません
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法〕



〔図1〕

③天井に適切な埋込穴をあけてください。

④本体から反射板をはずしてください。

⑤本体からユニットケース、非常灯蓄電池を引きはずしてください。

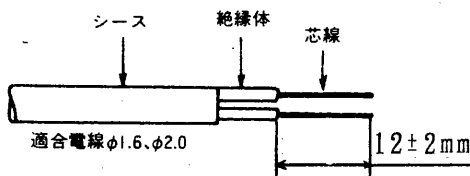
⑥電源線の先端をストリップしてください。

電源線のストリップは、コンセントに表示されたストリップゲージに合わせて14mmでストリップしてください。〔図2〕

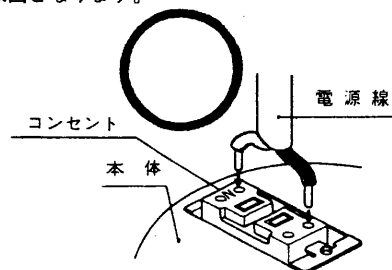
⑦天井からの電源線をコンセントに接続してください。〔図3〕

接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

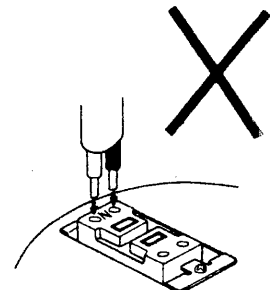
電源線は〔図4〕のように、接続しないでください。感電、火災の原因となります。



〔図2〕



〔図3〕

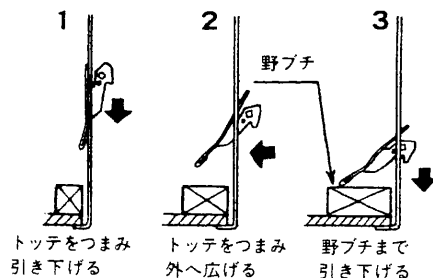


〔図4〕

⑧本体を埋込穴に押し込み取付金具または吊りボルトで固定してください。〔図5〕

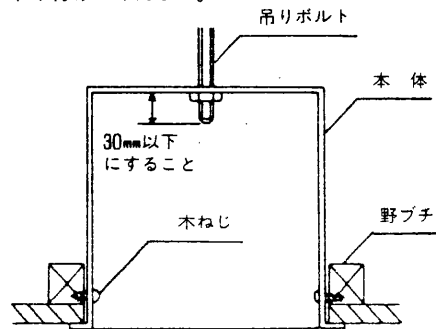
取付金具および吊りボルトで取り付けが不可能な場合は、野ブチを使って木ねじで取り付けてください。

取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。



取付金具による固定

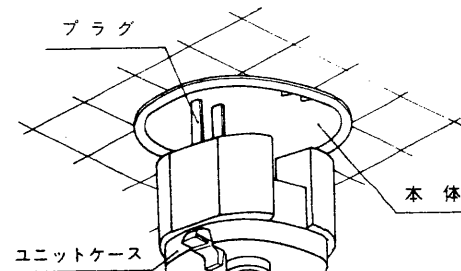
〔図5〕



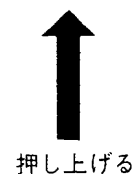
吊りボルトまたは木ねじによる固定

⑨ユニットケースのプラグとコンセントの位置を合わせてユニットケースを押し上げてください。〔図6〕

押し上げた際、ユニットケースが確実に本体に固定していることを確認してください。



〔図6〕

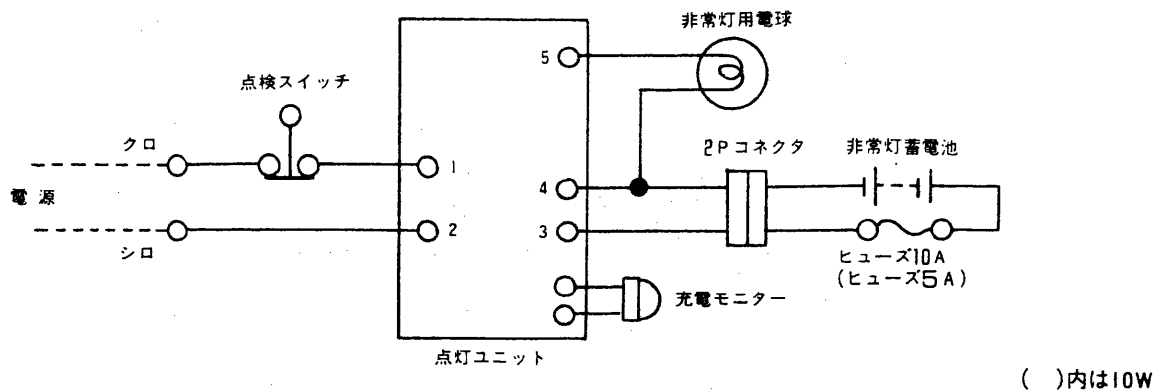


⑩電源を通電し、反射板を取り付け後、非常灯用電球をソケットにねじ込んでください。

取り付けに不備がありますと落下、火災の原因となります。

⑪取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか、保守と点検方法をご参照の上、充電モニターの点灯確認と点検スイッチを引いて非常点灯の確認をしてください。

■器具の回路図



■仕様

形 名	平常時電源	入力電流	消費電力	光 源	非 常 時 電 源	埋込穴寸法 (mm)	質 量
IEM-10801	交流 100V	0.021A	2.0W	PIL4.8V10WS35E17	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4NR-CU-RN 4.8V 2000mAh	φ150	1.2Kg
IEM-20801		0.031A	3.0W	PIL7.2V20WS35E17	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 6NR-CX-RN 7.2V 2500mAh		1.4Kg
IEM-20801B							
IEM-20802						□150	1.5Kg
IEM-20901							
IEM-40801		0.044A	4.1W	PIL14.4V40WS35E17	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 12NR-CX-RE 14.4V 2500mAh	φ200	2.4Kg
IEM-40802						□200	2.6Kg
IEM-40901							2.8Kg

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ

施工上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

器具の取り付けは、重量の耐えるところに、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。取り付けに不備がありますと器具落下、火災の原因となります。

取り付け重量

器具を改造したり、部品の追加、ランプおよび蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。

改造

電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

電源線接続

この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、取扱説明書の「器具の取付方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工しますと火災の原因となります。

断熱施工

この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

湿度

この器具は、併用形ではありませんので、平常時には点灯できません。ランプ破損の原因となることがあります。

平常時点灯不可

この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。

腐食性ガス

この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと、器具落下の原因となります。

振動の激しい場所

この器具は、屋内専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。

風

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具は、周囲温度 5℃～35℃以外では使用しないでください。高温で使用しますと火災の原因となります。

温度

表示された電源電圧 (AC100V ±6%) 以外で使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、点灯装置の短寿命、火災の原因となります。

電源電圧

この器具は、屋内専用です。屋外で間違えて使用しますと、湿気、水気の浸入により、絶縁不良、感電の原因となります。

屋外

⚠️ お願い

電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。

この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池を放置すると過放電状態になりますので、おやめください。

内蔵の蓄電池は、ご使用前に48時間以上充電してからお使いください。電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。

工事完了から、使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで器具を放置し、その後、蓄電池をはずし、保存してください。

お客様へ

保守上のご注意

⚠️ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

ランプ交換やお手入れの際は、必ず非常灯用電球を取りはずし、電源を切ってからお取り替えください。感電、やけどの原因となります。



電源を
切って

ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。



ランプ
交換

この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、指定のものをご使用ください。蓄電池の分解およびリード線の切断は短絡、感電の原因となります。

交換した蓄電池は捨てずに、リサイクルにご協力ください。



適合電池

⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。内蔵の部品によっては、器具寿命の前に交換する定期的な交換してください。



寿命

点灯中および消灯直後はランプや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。



ランプ高温

⚠️ お願い

ランプの端部が黒ずんだり、暗くなったときは、ランプを早めに交換してください。

3ヶ月に1回は破損、変形などの外観点検を行ってください。

6ヶ月に1回はランプの明るさ、非常点灯持続時間、切替動作などの機能点検を行ってください。

非常点灯持続時間(48時間以上充電後、非常点灯30分以上)が30分以下の場合は、内蔵の蓄電池を交換してください。

点検終了後、点検結果を付属の点検カードに記入してください。

お手入れのしかた

⚠️ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

器具のお手入れは、必ず非常灯用電球を取りはずし、電源を切ってから行ってください。

器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。



注意

ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。



禁止

金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。



禁止



Ni-Cd

この製品には、ニカド蓄電池を使用しております。ニカド蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の破棄に際しては、ニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは、器具の形名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 施設・HID事業部 施設照明部 〒410-0312 静岡県沼津市原2608番地58 TEL (0559) 68-8401 FAX (0559) 68-8399

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

003295G

<生産完了 2006年03月01日>
IEM-40801(4/4)